

研究協力のお願

昭和医科大学病院では、下記の臨床研究（学術研究）を行います。研究目的や研究方法は以下の通りです。この掲示などによるお知らせの後、臨床情報の研究使用を許可しない旨のご連絡がない場合においては、ご同意をいただいたものとして実施されます。皆様方におかれましては研究の趣旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。

この研究への参加を希望されない場合、また、研究に関するご質問は問い合わせ先へ電話等にてご連絡ください。

食道癌術後胃管瘻に関する検討	
1. 研究の対象および研究対象期間	2018年1月1日から2028年12月31日に昭和医科大学病院にて食道癌術後に内視鏡的胃管瘻造設が行われた患者さん。
2. 研究目的・方法	食道癌術後において縫合不全・嚥下障害などが発生した場合に栄養ルートの確保は重要です。従来、食道癌手術においては手術中に胃管瘻・小腸瘻を定型的に全例造設することが多く行われていましたが、当センターでは術後に必要な症例にのみ内視鏡的に胃管瘻を造設しており、その有用性を検証するため本研究を立ち上げました。過去に術後胃管瘻を造設した患者さんのデータを調査し検討します。
3. 研究期間	昭和医科大学における人を対象とする研究等に関する倫理委員会審査後、委員会から発行される「審査結果通知書の承認日」より、研究実施機関の長の研究実施許可を得てから2030年12月31日まで
4. 研究に用いる試料・情報の種類	患者背景（性別、年齢、診断名、入院日、退院日、入院期間、胃管瘻造設に至った原因）、胃管瘻造設に伴う合併症、胃管瘻造設に要した処置時間、長期予後
5. 外部への試料・情報の提供	該当しません
6. 研究組織	研究責任者 昭和医科大学病院 食道がんセンター 氏名 有吉 朋文

7. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせください。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することができますのでお申出ください。また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象者としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

所属：昭和医科大学病院 食道がんセンター 氏名：有吉 朋文

住所：東京都品川区 1-5-8 電話番号：03-3784-8256